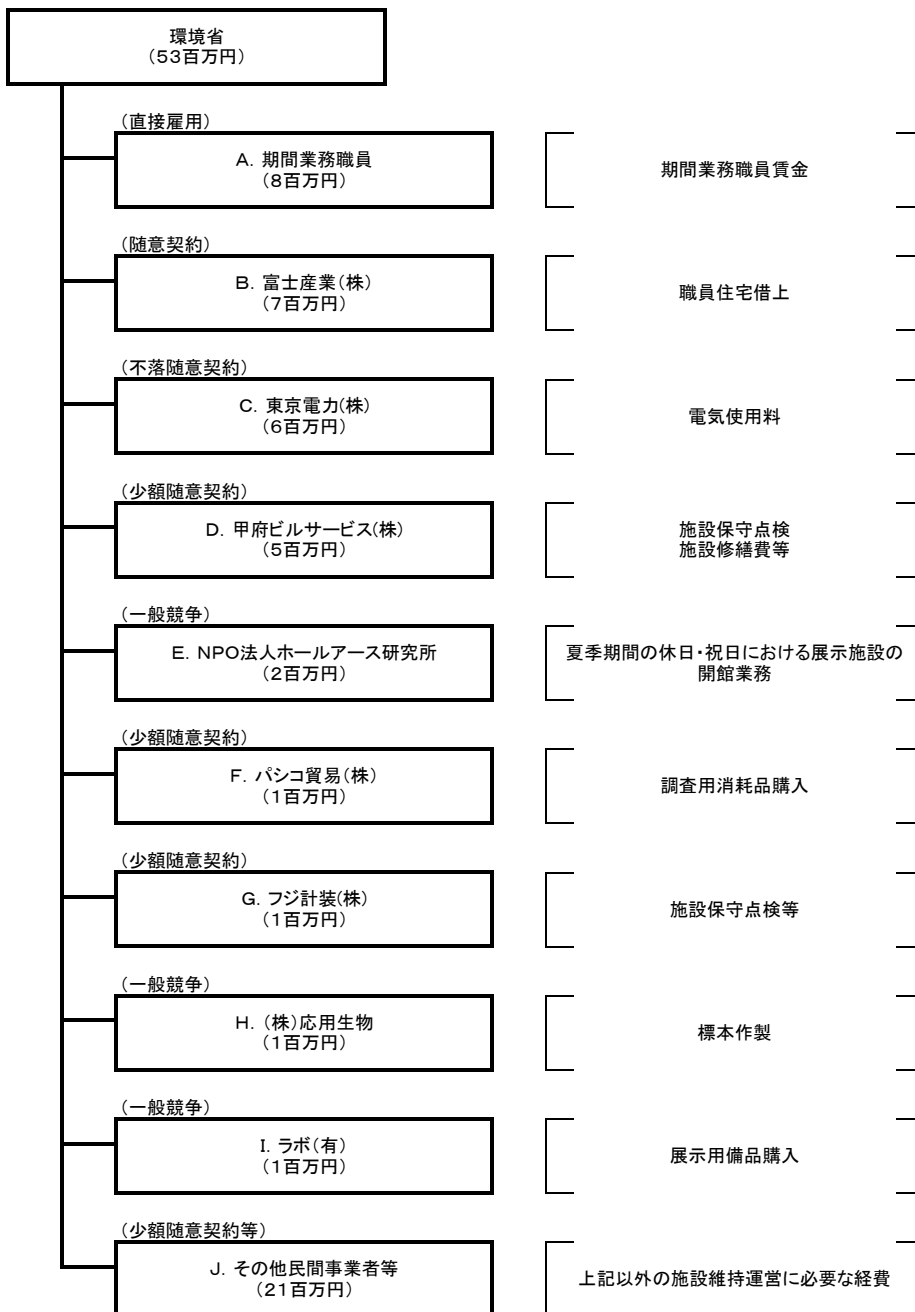


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	生物多様性センター維持運営費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成10年度～		担当課室	生物多様性センター		センター長 中山隆治		
会計区分	一般会計		政策・施策名	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-1 基盤的施策の実施及び国際的取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	生物多様性基本法第22条、第24条、第26条 環境省組織規則第21条		関係する計画、通知等	生物多様性国家戦略2012-2020				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	生物多様性国家戦略を受け、我が国の自然環境に関する情報の収集・提供の拠点として生物多様性の保全に貢献するため、平成10年度に設立された生物多様性センターの運営等に必要経費							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①自然環境保全基礎調査等で蓄積された資料及び動植物標本の収集・保管。 ②生物多様性情報の整備・提供。 ③自然環境・生物多様性に関する資料の公開及び生物多様性の保全に関する普及啓発。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	72	69	68	70	81	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	72	69	68	70	81	
	執行額	69	59	53				
	執行率 (%)	96%	86%	78%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	予算額の大部分が事務的経費及びその類似経費であるため、定量的な成果指標は示せない。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	予算額の大部分が事務的経費及びその類似経費であるため、定量的な成果指標は示せない。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
					(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	2	3					
	環境保全調査費	48	56					
	土地建物借料	9	11					
	各所修繕	2	2					
	自動車重量税	0	0.03					
	環境保全調査等委託費	10	10					
	計	70	81					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	生物多様性国家戦略を受け、我が国の自然環境に関する情報の収集・提供の拠点として設立された施設であり、国民への情報発信拠点としてのニーズに応える上でも、国として優先度が高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		-			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争を原則として支出先を選定するとともに、少額のものにあつては複数者から見積もりを取得し、最も安価な者を支出先として決定しているため、競争性を確保した上で適正な支出先を選定している。 動植物の標本作製業務に関して、標本の元となる資料の提供が少なかったことからやむを得ず不用が発生した。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	生物多様性国家戦略を受け、我が国の自然環境に関する情報の収集・提供の拠点として機能しているほか、来館者に対して公開し普及啓発を実施している。また、政府として保管すべき標本・資料類を適切に管理活用している。 来館者のニーズに合わせて休日開館期間の延長や、学校の社会科見学、JICA研修等、幅広く利活用を行っている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>当事業では、職員旅費、賃金や土地借料など競争性の担保できない経費も多いが、施設保守業務や一般的な請負契約の実施に当たっては、一般競争入札等の価格競争により実施している。また、環境に配慮した契約も引き続き行い、効率的・効果的な施設の維持管理に努める。</p> <p>なお、当センターは設立から15年が経過し、耐用年数を経過している設備も出てきていることから、施設の安全面や維持管理の面から効果的な設備更新・修繕を行うこととしている。</p>					
外部有識者の所見						
調査結果の普及啓発に関して、その成果(例えば来館者数など)が示されるべきである。そうした成果との対比で、事務経費が適切であるかどうかの評価をすべきである。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き効率的な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	<p>【有識者の所見を踏まえた改善点】 普及啓発については、自然環境保全基礎調査等で得られた各種生物多様性に関する基礎情報の提供、東・東南アジアにおける生物多様性保全に係る研修やJICA研修、動植物標本の展示・貸出など普及啓発の内容が多岐にわたっており、来館者数やJICA研修状況などは生物多様性センターHPで公表しているものの、これらの数値だけを直ちに成果目標や活動指標に設定することは難しい。今後も様々なニーズや動向を把握しながら適切な評価につなげていくこととする。</p> <p>【概算要求における反映状況】 引き続き効率的な執行に努める。</p>					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	150	平成23年	143	平成24年	152

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.期間業務職員			F.パシコ貿易(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	期間業務職員雇用経費	8	消耗品費	調査用消耗品購入	1
計		8	計		1
B.富士産業(株)			G.フジ計装(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	宿舍借上費	7	雑役務費	施設保守点検等	1
計		7	計		1
C.東京電力(株)			H.(株)応用生物		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
光熱水費	電気使用料	6	人件費	標本作製	1
計		6	計		1
D.甲府ビルサービス(株)			I.ラボ(有)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	施設保守点検等	5	備品費	展示用備品購入	1
計		5	計		1
E.NPO法人ホールアース研究所			J.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	休日運営管理業務	2			
計		2	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	期間業務職員A	期間業務職員賃金	8	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士産業(株)	職員住宅借上	7	随意契約	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京電力(株)	電気使用料	6	不落随契	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	甲府ビルサービス(株)	自動制御機器機能保守点検業務	0.8	少額随意契約	-
2		消防設備保守点検業務	0.8	少額随意契約	-
3		施設内設備巡回点検業務	0.6	少額随意契約	-
4		チラー冷凍機器保守点検業務	0.4	少額随意契約	-
5		チラー温水器配管凍結防止ヒーター交換工事	0.4	少額随意契約	-
6		外灯絶縁不良修理	0.2	少額随意契約	-
7		監視モニター取替工事	0.2	少額随意契約	-
8		ソーラーシステム凍結防止制御	0.2	少額随意契約	-
9		STL-1系統温水ポンプ修理	0.2	少額随意契約	-
10		空調ポンプ類点検業務	0.2	少額随意契約	-

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人ホールアース研究所	夏季期間の休日・祝日における展示施設の開館業務	2	1	97.8

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	パシコ貿易(株)	調査用消耗品購入	1	少額随意契約	-

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	フジ計装(株)	中央監視装置データ収集管理業務	0.6	少額随意契約	-
2		中央監視装置点検業務	0.5	少額随意契約	-
3		空調設備冷暖切替業務	0.2	少額随意契約	-

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)応用生物	標本作製委託業務	1	2	61.3

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ラボ(有)	展示用ケース購入	1	3	39.4

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ともや剥製製作所	熊等剥製製作	0.9	少額随意契約	-
2	東日本電信電話(株)	インターネット・電話使用料	0.9	少額随意契約	-
3	(株)小林事務機	超低温冷凍庫等購入	0.9	少額随意契約	-
4	(財)自然環境研究センター	AP-BONリーフレット印刷	0.9	少額随意契約	-
5	(株)GRANT	いきものみっけリーフレット印刷	0.9	少額随意契約	-
6	セコム山梨(株)	生物多様性センター警備業務	0.8	少額随意契約	-
7	山梨県	生物多様性センター敷地借料	0.8	少額随意契約	-
8	(財)関東電気保安協会	自家用電気工作物保安管理業務等	0.8	少額随意契約	-
9	伊那美装(株)	生物多様性センター清掃業務	0.7	少額随意契約	-
10	リコージャパン(株)	複合機賃貸・保守	0.7	少額随意契約	-